

# 区政Now！（平成28年11月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

お知らせ



この度、区のリサイクル事業における中核的施設として、「あらかわりサイクルセンター」を開設いたしました。リサイクルセンター開設を清掃・リサイクル事業推進の新たな出発点と位置づけ、限りある資源を有効活用することで循環型社会の構築に一層取り組んでまいります。

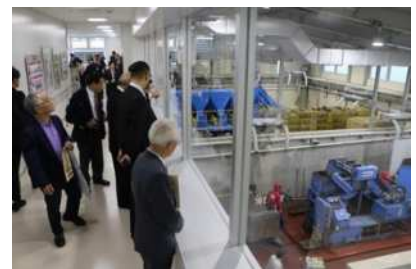
また、来春開設予定のゆいの森あらかわに現代俳句協会から俳句資料が寄贈されることになりました。ゆいの森開館後は、俳句資料をご覧いただくとともに、俳句講座等のイベントについても、協会と協力し実施する予定です。

今後とも、区民の皆様と手を携えながら様々な取組を実施してまいりますので、引き続き、御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## あらかわりサイクルセンターがオープンしました

10月10日、荒川区の清掃リサイクル事業の拠点として、荒川区リサイクル事業協同組合と協働で運営する「あらかわりサイクルセンター」を開設しました。

あらかわりサイクルセンターは、びんや缶などの資源を破砕・圧縮処理する「工場エリア」と、処理工程を見学できる通路や清掃・リサイクル事業に関するパネル展示、リサイクルを学べる事業などを行う工房・研修室を配置した「普及啓発エリア」から構成されています。当センターを十分に活用し、区における資源の中間処理の一層の効率化を図るとともに、資源の循環型社会の構築に向けたリサイクル教育の充実を図ってまいります。



びん・缶が処理される様子を見学

一方、資源の回収では、町会・自治会が中心となって資源を回収する集団回収を支援しており、区民一人当たりの年間の資源回収量は12年連続で23区中、1番の実績をあげています。今後とも、多くの取組を通じて環境先進都市の実現に向け邁進してまいります。

## ゆいの森あらかわに現代俳句協会から俳句資料が寄贈されることになりました

10月11日、現代俳句協会と「俳句資料の寄贈等に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、現代俳句協会が保有している新旧俳句資料約1万1千冊等が区へ寄贈（一部寄託）されることになりました。寄贈される俳句資料は、平成29年3月26日開館予定の「ゆいの森あらかわ」の俳句資料コーナーで、来館者の閲覧に供する等の活用を図ってまいります。今後も随時、俳句協会から区へ俳句資料が寄贈される予定です。



西川区長（左）と宮坂静生  
現代俳句協会会長（右）

区は平成27年3月に「俳句のまち宣言」を行い、俳句文化のさらなる振興のために、区内外に向け俳句のまちであることを強く発信し、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げる取組を推進しています。今回の協定締結もその一環です。

今後も、現代俳句協会と協力しながら、「俳句のまちあらかわ」として区の俳句文化の醸成を推進してまいります。

主な事業

## 警視庁と連携して特殊詐欺根絶に向けた取組をしています

警視庁主催の「特殊詐欺根絶キャラバン隊」がサンパール荒川で開催されました。このイベントでは、再現芝居や心理学の専門家の解説、来場者参加型の「特殊サギ根絶検定」などにより、被害に遭わないための対策について区民の皆様と一緒に学びました。

区においても、特殊詐欺根絶に向け、さまざまな取組をしており、例えば、被害に遭いやすい高齢者世帯を対象に電話の自動通話録音機の無償設置を行っています。録音機設置により、被害に遭わないだけでなく、迷惑電話が減ったという意見が多数あり、大きな成果をあげています。

さらに、今年度から「防犯かわら版」と称するニュースの発行やメールマガジンを利用した防犯ニュースの配信も始め、特殊詐欺撲滅に努めています。

引き続き、区民のみなさまが安心して暮らせるよう区内の警察署と連携しながら、被害の根絶に向けた取組を進めてまいります。

## キッズあおぞら保育園が開設しました

11月1日、セントラル荒川ビル2階に私立認可保育園「キッズあおぞら保育園」が開設しました。

キッズあおぞら保育園の利用定員は53名で、対象は0歳児～5歳児までです。「小さな命が輝く保育」を保育目標に掲げ、年齢にあわせたクラス別保育や「きょうだい保育」（異年齢グループ活動）を二つの柱に子どもたちを育てていきます。



1・2歳児室の様子

今後も引き続き、待機児童解消に向け、29年4月には都立汐入公園内と西尾久三丁目、東日暮里三丁目にそれぞれ私立認可保育園の開設を予定しております。

保護者のみなさまが安心して子どもを育てられる環境づくりを進め、引き続き子育て支援施策のより一層の充実に努めてまいります。

## 全国連携：北海道・くしろ 旬！秋の味覚市が開催されました

10月15日と16日、日暮里駅前イベント広場で特別区全国連携プロジェクトの一環として、「北海道・くしろ 旬！秋の味覚市」が開催されました。

昨年に引き続き2回目の開催となった今回も、釧路管内8市町村（釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町）が出店し、花咲ガニてっぼう汁や焼き灯台ツブ等実演販売が行われたほか、いくらの醤油漬けや乳製品等の特産品が販売されました。



実演販売の様子

当日は区内外からたくさんの方々が訪れ、北海道・釧路地域の特産品に舌鼓を打っていました。

今後とも、北海道町村会と共にさらなる発展を目指しつつ、全国各地域と協力・連携し、互いに発展していけるような関係を築いてまいります。